令嬢たちのロシア革命
～ 自立も恋も革命も ～

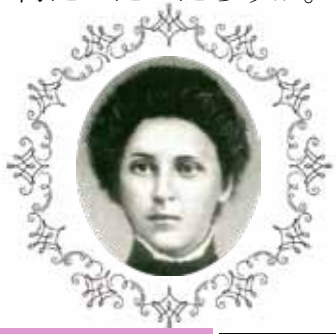
斎藤治子氏 講演会

東京ロシア語学院理事長、ロシア現代史、国際関係史。

『独ソ不可侵条約』(新樹社 1995)

『令嬢たちのロシア革命』(岩波書店 2011)他

時は明治維新前後、ソ連邦の父レーニン誕生の頃、ロシア革命の
舞台に名を残すことになる5人の令嬢達が生まれた。危険な
社会変革の道に飛び込んだ姫たちの目指したもの、そして
彼女たちが歴史に果たした役割は
何だったのだろうか。



５月１２日(土)

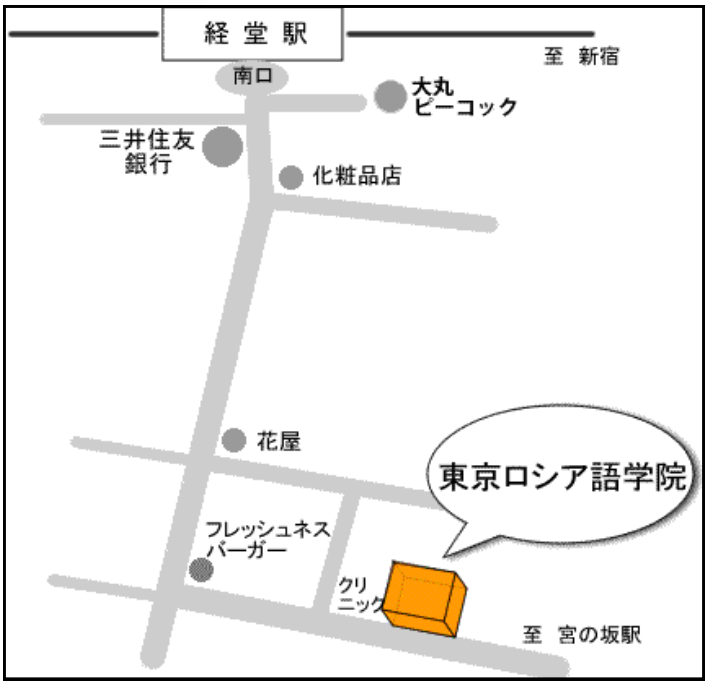
１３：００～１６：００

東京ロシア語学院２Fホール

世田谷区経堂１－１１－２

（小田急線「経堂駅」徒歩5分）

資料代・茶話代：８００円（会員半額）



主催：日本ユーラシア協会女性委員会 http://www.kt.rim.or.jp/~jes/

日本ロシア語情報図書館 http://www.h5.dion.ne.jp/~biblio/ お問合せ:03-3429-8239（牛島）

「令嬢」とはこれまた時代がかった表現だが、ロシア革命以前のロシアで大貴族またはそれに準じる社会環境で育つ娘たちは、大勢の使用人に世話され、恵まれた生活・文化環境の中で生育し、家庭教師・女子ギムナジウム・高等専門教育（制限付ではあっても）で能力を身につけることも可能で、下層階級の娘たちとは同性同世代であっても共通点は何も無く、「令嬢」としか呼びようの無い存在であった。大事に育てられた「令嬢」たちは、普通は何の疑問も無く同じ環境で育つ「令息」たちと階級の拡大再生産に励むことになる。

しかし、想定外のことが起きるのも現実、賢く育った「令嬢」の中には世の中は自分が思っていたのとは違うと感じ、まっすぐにその矛盾と立ち向かう勇敢な貴種も生まれる。ロシアでは 1917 年の革命につながる社会変革の時代、その数がとても多かったのは、次の数字からもわかる。「1870 年代にリストアップされた革命家 5664 人のうち 1/8 が女性で、73-77 年に検挙された女性革命家の中で貴族出身が 67%を占めていた」（本文より）。

全く違う環境に飛び込んだ「令嬢」たちは、劣悪な労働条件の中で働く労働者の現実を知り学び、革命運動の一翼を担い、恋もし、場合によっては結婚して子供を育て、、、実に逞しいのだ。実際には仕事、党活動の中で「子育て」や「女性差別」に悩んだこともあったに違いない、ソ連時代に制度的法的には女性の地位は保証されたが、決して女の生き方が楽になったわけではなさそうだから。

「令嬢」たちが路線をめぐって同等にレーニンとも渡り合えたロシア革命の初期、特に 2 月のブルジョア革命から 11 月の労働者・農民ソヴィエトに権力が移行する目まぐるしい 1917 年、令嬢たちもそれぞれの立場で真剣に事態に取り組む。「会議」と「組織」と「布告」の羅列に見えていたこの年が、「令嬢」たちの姿を追うことによって急に生き生きとした時代として甦る。新しいロシア革命が見えてくるかもしれない。

そしてソ連崩壊後に公開された資料では、知られていなかった「令嬢」たちの素顔が見える。特に恋に生き悩み、自分の愛する人を自分で選ぶ(時には代える)爽快さは、時代を超えて私たちに共感とほほ笑みを伝えるに違いない。

この講演会を企画した日本ユーラシア協会は、ユーラシア諸国（旧ソ連各地を指します）の人々との長い交流の歴史があります。ユーラシア諸国の情報と日本各地での文化・交流活動を伝える機関紙『日本とユーラシア』を発行しています。

関連組織として、ロシア語の専門学校やロシア語ロシア関係専門の図書館、ユーラシア諸国研究と出版活動を行う研究所があります。

会員になると、自分の関心に応じて様々な催し物に参加し、行事を企画することができます。ロシア料理、物産、ロシア文学、ロシア音楽、マトリョーシカ絵付け、チェルノブィリ・セミパラチンスク被災者救援、核廃絶、日ロ平和条約締結促進（ウクライナ、キルギス、グルジア、モンゴルその他然り）等日本とユーラシアにかかわるテーマに少しでも関心のあるあなた！

日本ユーラシア協会の活動に参加しませんか？

日本ユーラシア協会：
〒156-0052
東京都世田谷区経堂 1-11-2
TEL：03-3429-8231
FAX：03-3429-8233
e-mail：jes@kt.rim.or.jp
http://www.kt.rim.or.jp/~jes/